

都心環境計画の概要について(H28.3 策定)

1 目標と基本方針

目標 森と矢作川に育まれた **祝祭・交流空間の創造** を目指します

- ① “まちを使う・体感する” にぎわい交流拠点の創出
- ② “まちに行く・回遊する” 交通拠点の形成
- ③ “まちを知る・発信する” 情報拠点の創出

基本方針

方針1：来街機会を増やす魅力の創出 ① ③

具体方針	内容
① 行ってみたい魅力の創出	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な商業空間創出 各施設の整備により新たな魅力創出 来街者の印象に残る空間創出 人々が集う公共空間創出
② 利便性の高い生活環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい環境創出 安全快適に外出できる交通環境形成
③ 風土・文化・芸術を感じる演出	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域などの魅力を感じる演出 鑑賞など各施設へ誘う空間演出 伝統的なイベント時の空間創出
④ ものづくりが体験できる演出	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを身近に感じる演出 未来型モビリティを体感できる演出

方針2：滞在時間を延ばす憩い空間の演出 ① ②

具体方針	内容
① 緑あふれる空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑に包まれた憩い空間創出 緑が感じられる通りを演出
② 周辺と調和したデザイン空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> 統一感のあるデザインや眺望の演出 自然を感じる通りや空間を演出

方針3：「まち」と「さと」をつなぐアクセスの利便増進と適正化 ② ③

具体方針	内容
① 鉄道・バスの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の乗換利便性の向上 バス運行サービスの向上 鉄道での広域アクセスを目指す
② 自転車交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用の安全性向上 駐輪場配置の適正化、利便性の向上
③ 自動車交通の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 都心に目的のない自動車誘導 歩車共存を見据えた走行環境形成 効率的な駐車場システムの更新

方針4：歩きたくなる快適で安全な回遊環境の形成 ② ③

具体方針	内容
① 安全で歩いて楽しい歩行空間を確保	<ul style="list-style-type: none"> 一体的に繋がる回遊しやすい空間創出 周辺施設への安全な歩行空間形成
② 都心の魅力を迅速に情報発信	<ul style="list-style-type: none"> まちなかを回遊したくなる情報提供

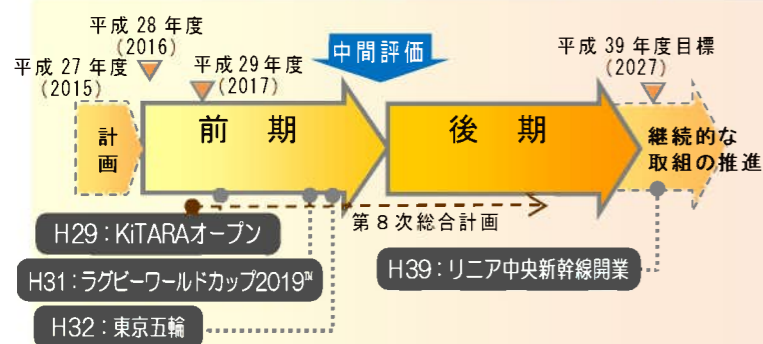
2 対象区域

● 商業施設
● 公共施設

松坂屋・T-FACE
豊田市美術館
コンサートホール(参考館)
スカイホール豊田

3 計画期間

本計画の期間は、平成28年度(2016年度)から平成39年度(2027年度)までの12年間とする。都心のにぎわい創出に向けた多様な取組の推進については、リニア中央新幹線の開業を概ねの目標とするが、ラグビーワールドカップ2019TM開催を1つの節目として、随時評価・見直しをしながら、継続的に実施していく。



項目	H26 数値	目標値
① 歩行者数	78千人/日	100千人/日
② 鉄道・バス利用者数 ^{※1}	47千人/日	62千人/日
③ 施設利用数	370万人/年	480万人/年
④ 商業の売上高 (テナントミックス事業対象店舗)	190億円/年 ^{※2}	265億円/年 ^{※3}
⑤ 満足度(にぎわい、魅力度、うるおい、愛着度等)	25% ^{※4}	32%

※1 バス利用者数は、おいでんバスの豊田市発着路線の全利用者数
※2 平成25年数値
※3 平成31年目標数値
※4 数値は、にぎわいのみ

4 魅力創出重点ゾーン*での展開イメージ

*豊田市駅周辺を中心に商業機能、公共空間機能、交通機能の確保に向けて重点的に施策を展開するゾーン。

空間再整備(つくる)の展開

本市の玄関口として、多様な来街者に対する利便性の高いおもてなし空間の提供に向け、新たな交通拠点を形成するとともに、駅周辺に新たな魅力と憩いの場を提供する公共空間を創出する。

駅東口広場イメージ
KITARAイメージ
豊田市駅
駅西口
GAZA メグリアセントレ
T-FACE
新豊田駅
豊田市駅東西一体化イメージ
駅西口バスターミナルイメージ
駐車場線フルモール化イメージ

空間活用(つかう)の展開

豊田市駅周辺に立地する既存商業施設や北地区市街地再開発事業を中心に、商業環境に新たな魅力を創出する。また、既存の公共空間や民間の広場のスペースとそれに隣接する建物の低層階をあわせて、人のための魅力的な空間に再編し、多様な主体が憩える、新たなチャレンジができる『まちなかの居場所』を創出し継続的に運営する。特に駅前には豊田が感じられるおもてなしの機能を充実する。

中心市街地テナントミックス事業

【対象(○)】: T-FACE、松坂屋、ギャザ、コモ・スクエア、KITARA、VITS 豊田タウン、名鉄プラザ、参考館、商店街の機能連携

◇それぞれの店舗の役割に基づいて感度年齢のカバーを広げることで、顧客を共有しあい、施設間の連続性と回遊性を創出する

◇デッキとグランドレベルで東西一体的な回遊環境を創出することで、施設単体では実現できない商業環境を創出する

ウェルカムセンターの設置

都心の来街者の誰もが、目的地までの情報を気軽に収集できるようになる

あそべるよたプロジェクト 空間活用の試行

まちなか広場空間活用推進

憩いスペース(イベント利用も可能)
T-FACE
松坂屋
GAZA メグリアセントレ
名鉄プラザ
ウェルカムセンター
モビリティ拠点
市民活動スペース
市民プログラム まちなかマーケット
シネマコンプレックス
子ども遊び場スペース
主要動線確保
豊田市駅前通り
テラス・CAFE
コモ・スクエア
参考館

自らのまちを使いこなす市民や企業を発掘し、イベントのみでなく、日常の風景として継続できる空間や仕組みを、段階的に実験を重ね、市民の手で運営する。

<西口ペDESTリアンデッキ>
ワーカーや買い物客等の憩いスペース
ワーカーや学生、買い物客、バスの利用者が、休憩に利用するとともに、駅周辺ワーカーのランチスポットや市民への情報発信スペースとなる。

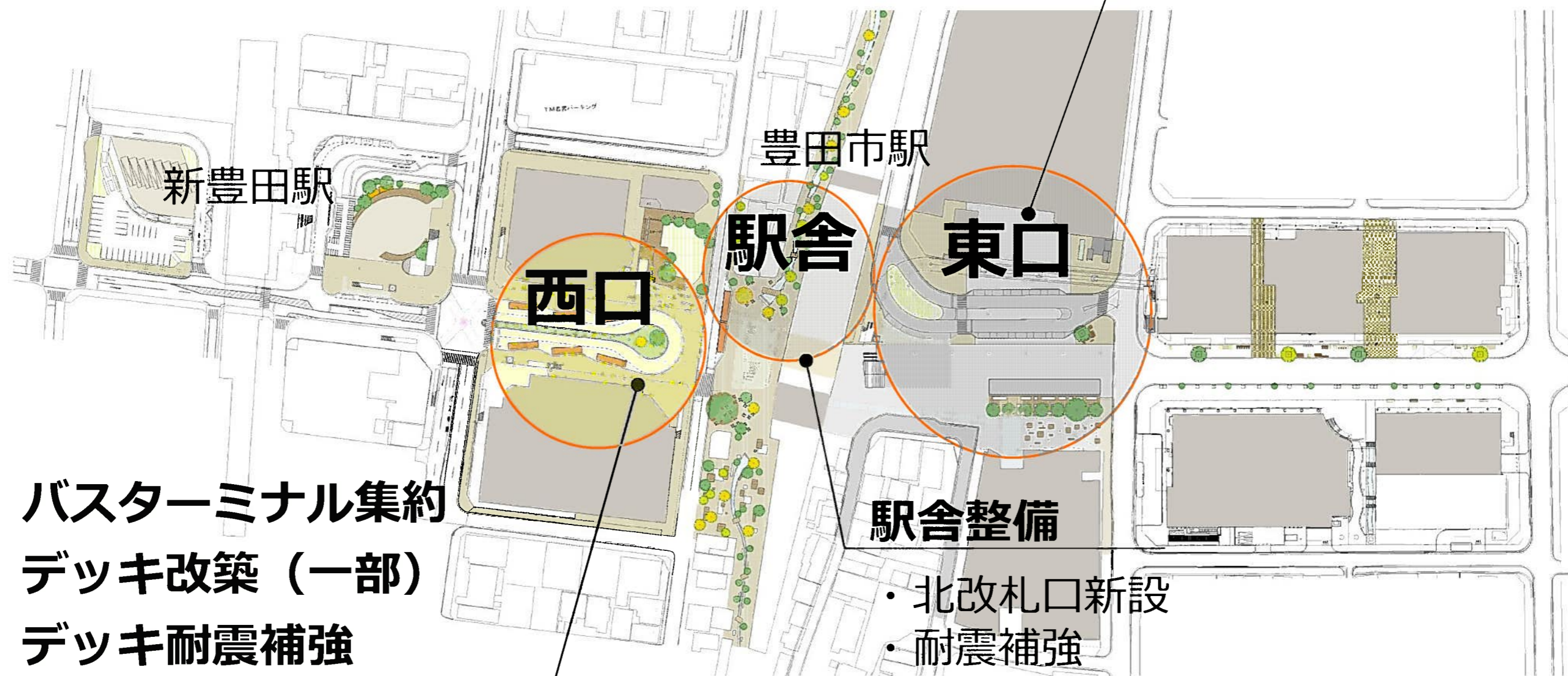
<東口広場>
豊田内外の活動・おもてなし拠点
日常的に市民がくつろぎ、様々な活動をしている風景が“まちなか”となり、国内外の来街者が、豊田の魅力を直感的に体感できるスペースとなる。

<駐車場線>
近隣住民や施設の中庭
隣接シネコン等の施設利用者、近隣住民等が、施設の中庭として、テラスのカフェで、くつろぎ・散歩するほか、子どもが安心して遊べる仕掛けを展開していくスペースとなる。

駅周辺再整備の概要

令和4年7月11日
資料1-2
都市整備部 都市整備課

駅前広場の整備 デッキ耐震補強



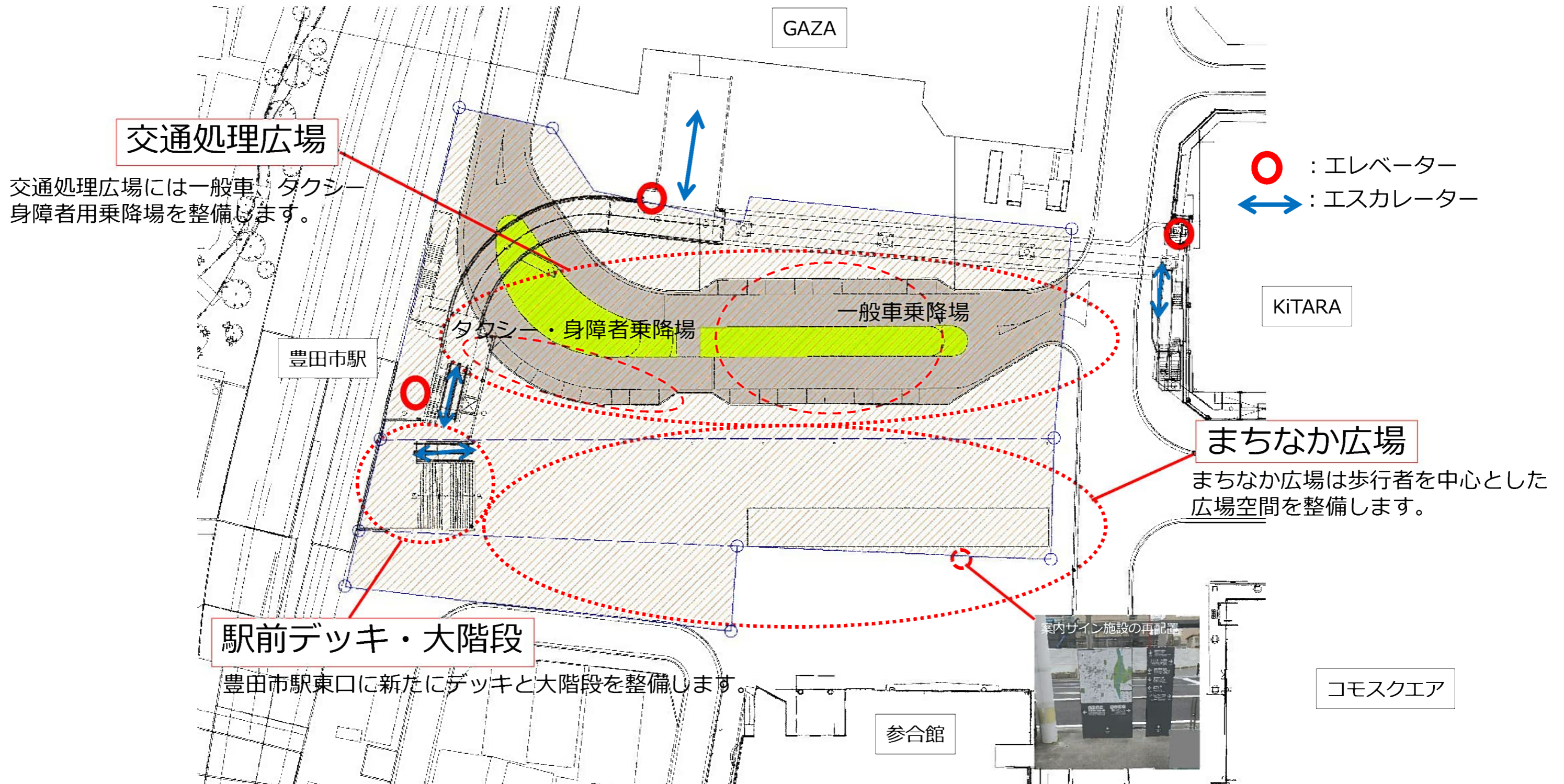
バスターミナル集約
デッキ改築 (一部)
デッキ耐震補強

駅舎整備

- ・北改札口新設
- ・耐震補強

豊田市駅東口の整備イメージ図

令和4年7月11日
資料1-3
都市整備部 都市整備課






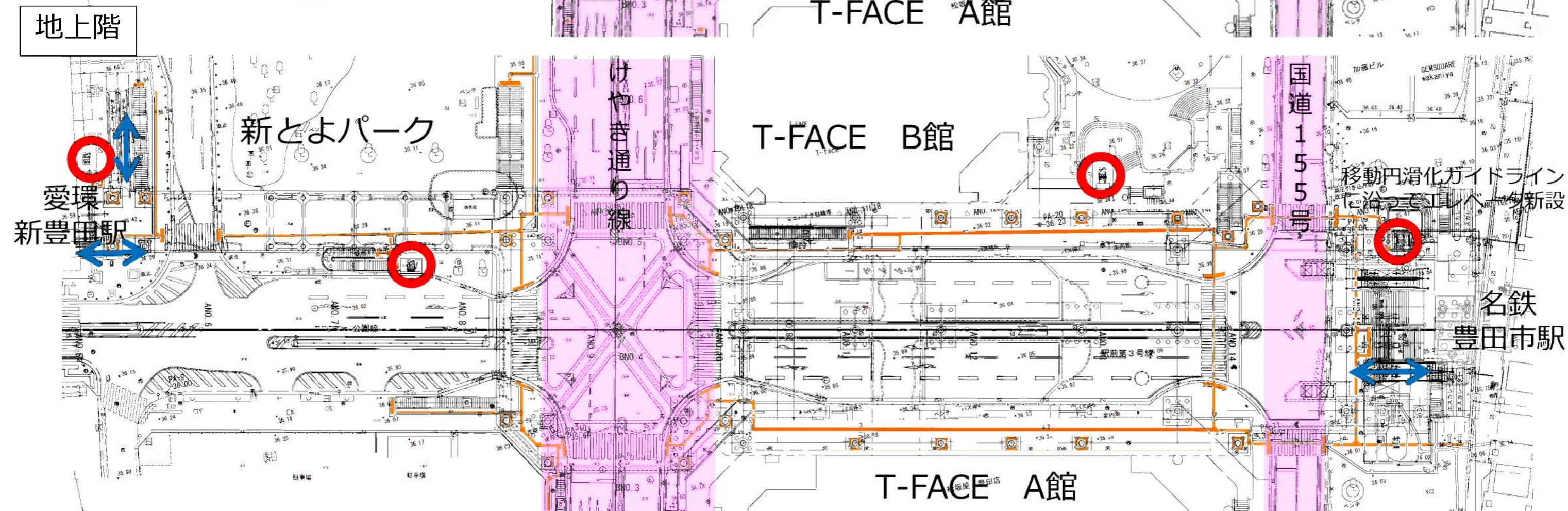
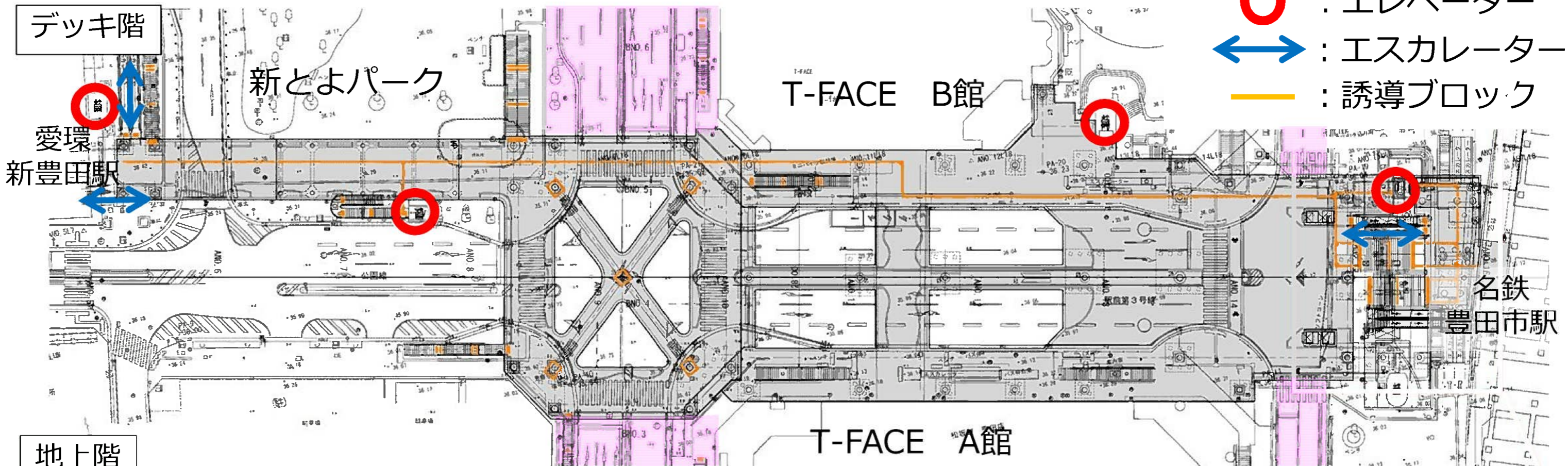
- ・豊田市駅東口の再整備では、一般車やタクシー、身障者用の「交通処理広場」とグランドレベルでの歩行者動線を確保した「まちなか広場」を整備します。
- ・「まちなか広場」は、現在のとよしばや人工芝生広場の利用状況を参考に滞留空間として必要な機能配置を検討しています。
- ・広場整備に合わせて、案内サインを再配置することで、回遊性や利便性の向上、来訪者の増加を図ります。

豊田市駅西口の計画図

令和4年7月11日
資料1-4
都市整備部 都市整備課

西口再整備においてはバリアフリー動線に合わせて誘導ブロックを整備し十分な歩行者空間を確保します。

-  : エレベーター
-  : エスカレーター
-  : 誘導ブロック



豊田市駅西口工事中のバリアフリールートについて(参考)

令和4年7月11日
資料1-5
都市整備部 都市整備課

豊田市駅西口デッキを一部架け替えます

令和5年春から工事着手します

工事中はデッキ上を通れなくなるため、
東口への迂回のご協力をお願いします

詳細は決定次第お知らせします

